



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

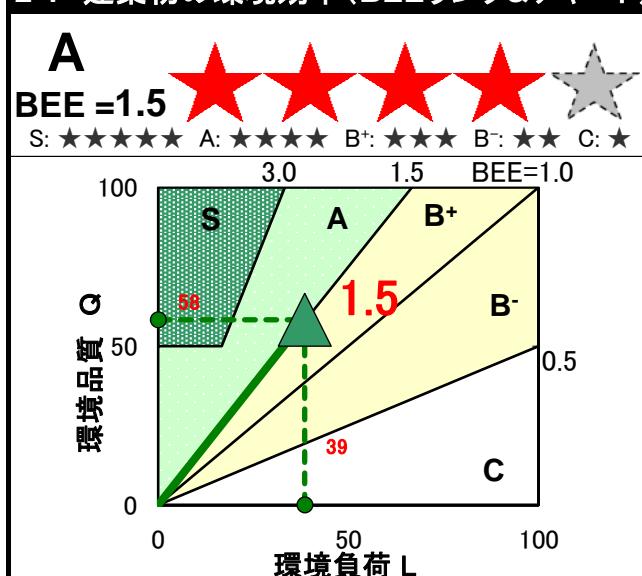
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)東部こども相談センター	
建設地	鶴見区今津南1丁目	
建築用途	児童福祉施設(児童養護施設)、事務所、自動車車庫、自転車駐輪場	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪市都市整備局	
敷地面積	2,358.82	m ²
建築面積	1,440.31	m ²
延床面積	4,814.93	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上4階
完了年(予定)	2026年5月	

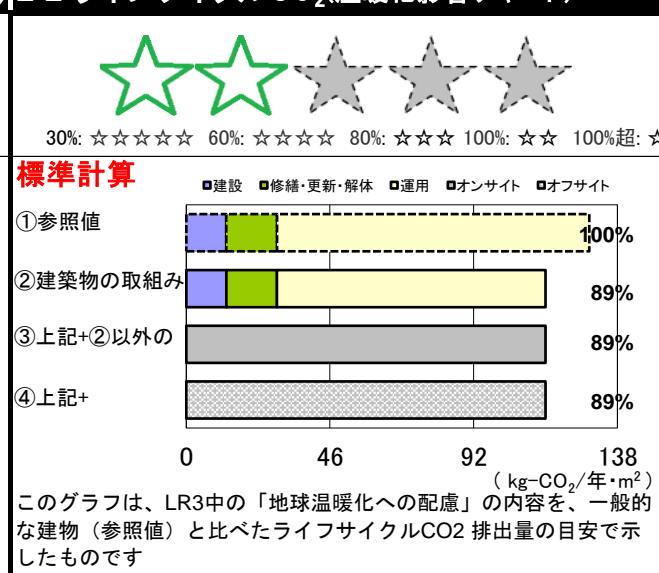
1-2 外観



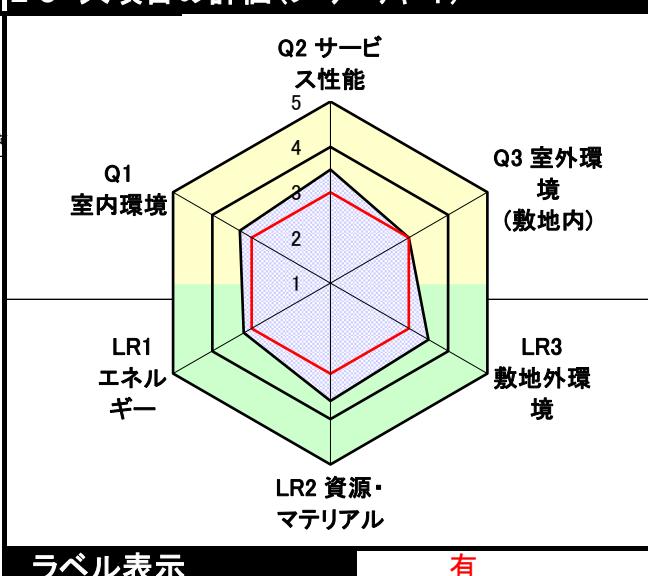
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



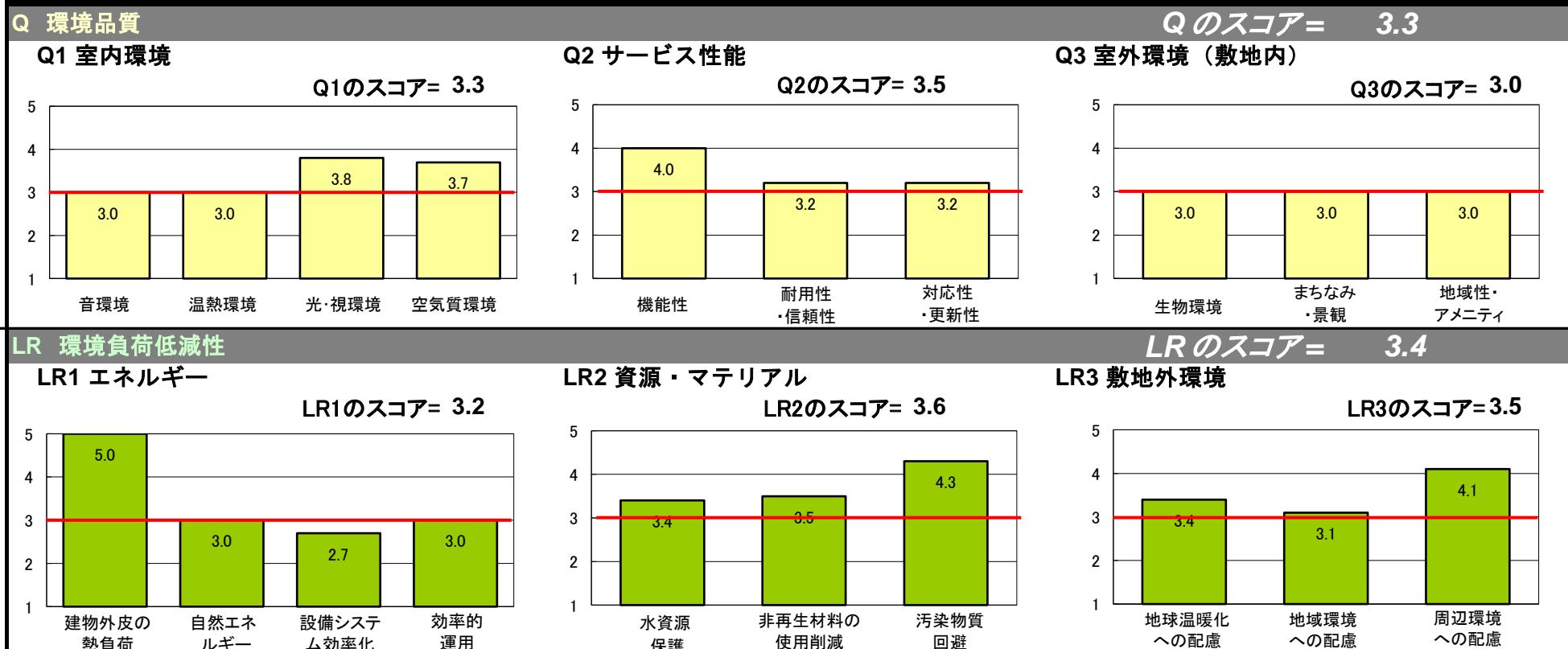
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 本施設は一時保護所を有する児童相談所として、利用者のプライバシーや安全性へ十分配慮しつつ、これからの社会のニーズに応じ長期活用を目指した施設である。Q1 (室内環境) からLR 3 (敷地外環境) までの6つの項目をバランスよく向上させ、総合的に環境に優れた建物としている。	その他 特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材の採用など室内環境の向上に配慮している。特に、ルーバーやバルコニーで日光を制御し、建物内部に設けた園庭で日光を利用するなど、光・視環境に配慮している。	Q2 サービス性能 将来のレイアウト変更に対応できる維持管理に配慮した設計、天井高さの確保（階高3.8～4m）等により建築物の機能性を高めている。
LR1 エネルギー LED照明など、高効率な設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水便器やリサイクル建材を導入し、省資源に取り組むとともに、内装壁のGL工法や事務室などのOAフロアの採用により、将来の部材再利用可能性向上にも配慮している。
Q3 室外環境 (敷地内) 建物屋上をはじめとし、建物の周囲、道路境界沿いを中心に敷地内に十分な緑地を確保している。敷地南側及び西側の歩行者空間には、来庁者に配慮し植栽帯を設け、地域に開放する計画としている。	LR3 敷地外環境 外壁（窓ガラス）によるグレアを抑制し、屋内照明のうち外に漏れる光をルーバーで軽減するなど、光害対策にも配慮している。 また、駐車場・駐輪場については適当な台数をみ込むことで、交通負荷抑制に寄与する計画としている。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示

大阪市建築物環境性能表示

総合評価 ★★★★☆



評価は、CASBEE大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。
「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和5年度 №118

環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.4

概要記入欄

配慮事項 CO2 排出率を参考値以下としている。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	3.0

概要記入欄

配慮事項 建物屋上をはじめとし、建物の周囲、道路境界沿いを中心に敷地内に十分な緑地を確保している。敷地南側及び西側の歩行者空間には、来庁者に配慮し植栽帯を設け、地域に開放する計画としている。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0

概要記入欄

配慮事項 建物の周囲にルーバーを設け、昼光を制御するとともに、建物内部に設けた園庭で昼光を取り込むといった自然エネルギー利用も計画している。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	2.7

概要記入欄

配慮事項 LED照明など、高効率な設備機器を採用している。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること

※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)

(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] 0.79
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.86	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.86